

関西大学創立130周年記念事業

社会の要請に応える学園づくりを目指して



2016(平成28)年11月、関西大学は創立130周年を迎える。前身である関西法律学校が大阪の地に誕生したのは1886(明治19)年。「正義を権力より護れ」を建学の精神とし、その長い歴史の中で「学の実化」を学是に掲げて社会・市民の啓蒙と教育に取り組み続け、これまでに42万人以上の学生・生徒を社会に送り出してきた。

創立130周年の節目を迎えるにあたり、本学では、地域社会や世界に貢献できる教育・研究のより一層の充実を目指して、数々の記念事業を予定している。130周年を機に、新しい歴史の幕開けとして、これまで受け継がれてきた知と精神を確実に継承するとともに、教育、研究、学生サービスの更なる充実に努め、社会の要請に応える学園の創出に、一丸となって邁進していく。

基本方針

基本的に「ソフト中心のコンパクトな記念事業」を目指すこととする。また、本学は関西法律学校として、大阪で生まれ発展してきた大学であることを踏まえ、基本方針として次の3つのテーマを掲げる。

①国際性

(アジアの中核大学、ハブ大学)

社会から強く求められている、国際化に対応可能な人材を育成する。

②知性と先進性

(安全・安心、環境、健康に関する文理融合型プロジェクト)

人間健康学部、社会安全学部、東アジア文化研究科など、新たに設置した学部・研究科の特色を活かした事業を既設の学部との関連を持たせて実施し、大学全体のブランド力の向上を図る。

③歴史と伝統

(泊園書院、市民の大学、ハブ大学としての地域連携・地域貢献)

本学構成員が建学の精神を再確認し、帰属意識の醸成を図る機会とする。

なお、この基本方針に基づき、本記念事業のコンセプトを「伝統への自信 未来への考動 ~『学縁』を世界に広げよう~」と定める。

大要

- 千里山キャンパスの狭隘解消のため、「知的創造空間」の創出と併せ、利便性・快適性を求めたアクセスの整備など、さまざまな取り組みを実践する。
- 「KUGF (Kansai University Global Frontier) プログラム」を開発・提供し、「グローバル教育推進奨学金・奨励金(仮称)」の創設を検討するなど、「次世代グローバルリーダー」の育成に努める。
- 産学官連携の新たな研究拠点「関西大学イノベーション創生センター」を設立し、最先端の研究装置・設備群を擁する日本有数の産学官連携・共同研究拠点を形成する。
- 「なにわ大阪」をキーワードに「関西大学なにわ大阪研究センター」を設立し、「総合科学」の観点から、その成果を国内外に発信する。
- 「関西大学『学縁』給付奨学金制度」の構築など在校生へのさまざまな支援事業に加え、校友会、教育後援会、併設校等とも連携した「オール関大」としての各種事業を実施する。

その他各種事業として予定している行事等

- 創立130周年記念式典の挙行(2016年11月4日に学内にて開催)
- 関西大学130年史料の刊行
- 創立130周年記念DVDの製作
- 記念植樹 など

キャッチコピーおよびシンボルマークの選定

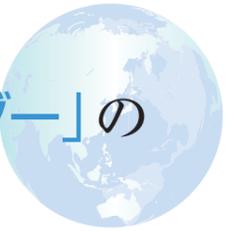
- ①キャッチコピー「この伝統を、超える未来を。」
- ②シンボルマーク



③選定趣旨

キャッチコピーについては、130年の伝統への自信と未来への変革の決意を端的に表現している。また、シンボルマークについては、関西大学の象徴である「葦の葉」と紫紺カラーをシンプルにデザイン化し、未来に向けて発展する力強さを表現している。

共通教養科目に「次世代グローバルリーダー」の育成を目指した科目群を設置



関西大学では、次世代グローバルリーダーの育成に向け、2014年度から共通教養科目の中に国際化教育プログラムを開設した。「KUGF (Kansai University Global Frontier) プログラム」では、本学への留学生や本学から海外へ留学する学生を対象に、英語で行われる講義を42科目開講。内容は「防災・減災と復興」「食品科学&工学」「国際ビジネス&アントレプレナーシップ」「日本学」「言語教育&コミュニケーション」という5つのモジュールと、TOEFL®対策等の英語の基礎学力向上トレーニングや異文化対応能力を練達する「国際教養科目群」で構成されている。更に、今まで外国人留学生向けに開講されていた科目を、一定の基準を満たす一般学生にも受講対象を拡大した。

また、「国際協力サービスラーニングプログラム」では、他者への献身を第一義とする国際ボランティアを通じて、コンピテンシーを涵養できるよう設計されている。



本科目群は、学生が入学後の早い段階で交換留学や認定留学などを含めた学修計画の目標を立て、必要な語学力の増進とグローバル人材としての知識や経験を積んだうえで、外国語による専門科目受講や各種の国際プログラムに参加できるよう導くことを目的としている。海外でも活躍できるリーダーの育成に向け、大きく扉が開かれたこととなる。

関西大学が目指す「次世代グローバルリーダー」の能力

1 専門的知識と技能

自らの文化・歴史・伝統などに通じ、国内外で生起する問題に関心を寄せ、常に専門領域との関連で批判的に物事を考えることができる力

2 グローバルビジネスなどに必要な高度の語学運用能力

卓越した語学運用能力をもって、さまざまなビジネスシーンにおいて対等に交渉し、創造的な結論を導き出せる力

3 コミュニケーション能力

言葉の働きを十分理解し、確かな言語運用能力に基づいて、自らの意見を発信し、必要に応じて相手を説得することができる力

4 問題解決能力および考動力

国際社会におけるさまざまな課題に関する本質的な要因を分析し、専門知識を駆使して創造的に解決する力

5 国際適応力および異文化理解力

異文化の違いを踏まえつつ、相手の考え方を理解したり、これに共感できる力

国際部・認定留学プログラム

オーストラリア・クイーンズランド大学でのグローバルキャリアアッププログラムが始動

関西大学国際部では、認定留学の新たなプログラムとして、オーストラリア・クイーンズランド大学との間でグローバルキャリアアッププログラム(GCUP)を開設した。

長い歴史と権威を誇るクイーンズランド大学は、オーストラリア国内でもトップクラスの学生が集まることで知られる名門校。GCUPは、将来グローバル展開を進める企業へ就職するためのスキルと経験を修得し、かけがえのない人間関係を構築するプログラムであり、10週または15週間の英語研修と2週間のビジネス研修、8週間の専門的職務経験を積むフルタイムのインターンシップで構成される。留学生はスパイラルアップ式に自らを進化させ、社会から必要とされる高い語学力と異文化理解力、行動力、判断力などの素養を身に付けることによってグ

ローバル人材として社会に貢献することが期待される。

4月にはクイーンズランド大学担当者によるガイダンスも開催され、多くの学生が参加した。本プログラムに参加する学生は8月末から留学を開始する予定である。



オーストラリア国内でも有数の名門校・クイーンズランド大学